

まちへの愛が、きっと見つかる

#いなべ探し

まちの魅力を発見

今まで以上に皆さんに「伝わる」広報を目指すため、広報に関するアンケート調査を7月に実施しました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。今回のアンケートでは、今後力を入れてほしい広報媒体は？との質問に、「Instagram（インスタグラム）」と回答した人の割合が、Link、ホームページに次いで多く、多様な情報発信が求められていることがわかりました。そこで今月号では、市でも活用しているInstagramについて紹介します。

伝えたい「今」がある

Instagramを知っていますか？Instagramとは、写真や動画の投稿で気軽に交流できるアプリで、国内では3,300万人を超える利用者がいます。市では2017年から公式のアカウントを開始し、現在のフォロワー数は6,300を超えました。

日々、広報活動で市内を回っていると、ソバの花が満開になっていたり、赤米が見事に色づいていたり、皆さんに届けたい景色がたくさんあります。しかし、月一回発行の広報誌では、旬の情報を載せる難しさがありました。また、誌面に掲載できるスペースにも限りがあります。Instagramでは、撮影してすぐに複数枚の写真を投稿することができるため、いなべの魅力を存分に伝えられる存在として活用しています。

まちへの愛が、きっと見つかる



もし、「いなべの魅力は？」と聞かれて答えに詰まったら、市の公式アカウントを見てください。「#いなべ探し」を付けて、自然豊かな風景や魅力的な市民の姿を投稿しています。一枚の写真から、まだ知らなかったまちの魅力を発見することも。魅力を知るうちに、「まちへの愛」につながることを期待しています。

Instagramの始めかた

- ①アプリをダウンロードします。
- ②アカウントを作ります。
「新しいアカウントを作成」を押して、電話番号かメールアドレスを入力します。「名前」「パスワード」「ユーザーネーム」を決めたら、Instagramの利用開始。
※操作に不安のある人は、毎月開催しているスマートフォン相談をご利用ください。開催日は19ページで確認してください。

Android版



iOS版



市公式アカウントをフォロー

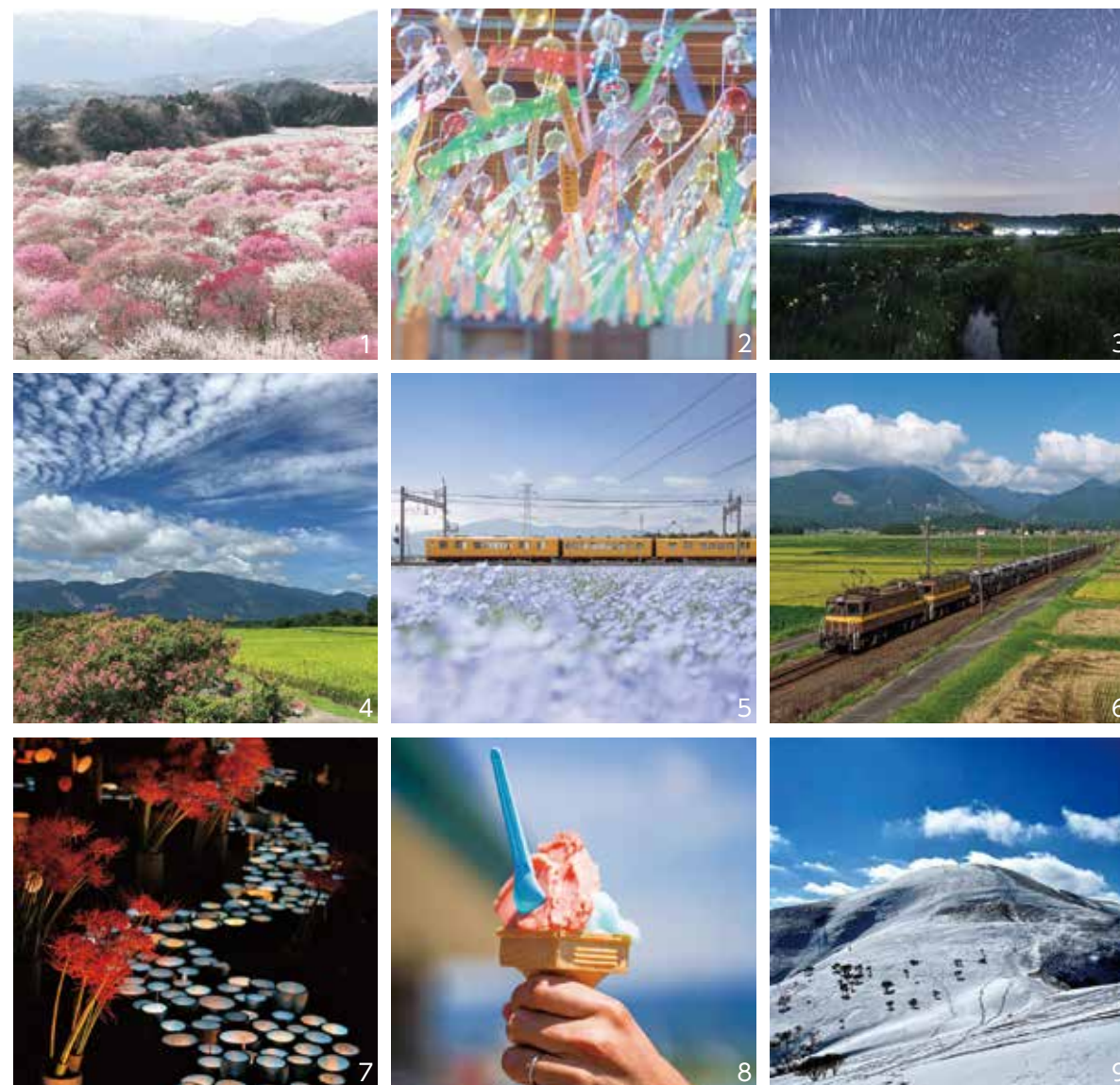
- ①Instagramを立ち上げます。
- ②虫眼鏡のアイコンの「検索ボックス」に「inabe_official」と入力します。
- ③「inabe_official」が出たら、「フォローする」を押します。



市公式アカウント
inabe_official



「#いなべ探し」で投稿された写真たち



1.fuku5chizu7さん 2.good_3_daysさん 3.toitoitoi5177さん 4.kumiko_kabanyasanさん 5.the_mami_tripさん
6.denpaoyajiさん 7.yamatomo121さん 8.inabe_official 9.purimura7さん

私たちがInstagramを活用しています

生産者のファンを作りたい

voice

農事組合法人 うりぼう

今年4月からInstagramの担当になりました。うりぼうのアカウントでは、生産者の紹介や店内の情報、イベントの開催などのお役立ち情報をもう一人の担当者と分担しながら発信しています。生産者のファンを作りたい。気軽に見てもらえるInstagramに可能性を感じています。身近なお客さんに伝えるような気持ちを意識し、毎日投稿するなど、興味をひく工夫をしています。

inabeuribou ▶



▲生産者を紹介



農事組合法人 うりぼう
スタッフ 平井 尚人さん

まちの「いいな」がつながる

いなべの風景を自身のInstagramに投稿している人の中から、3組に話を聞きました。



子どもの結婚式でカメラに触れたのをきっかけに、趣味で写真を撮り始めました。孫からInstagramを教えてもらい、6年前から利用しています。今では、撮影場所の情報をInstagramを中心に得るなど、生活の一部になっています。

生まれも育ちもいなべの私。当たり前の景色もカメラを手にしてから、今まで気付かなかった光景に出会えるように。何でもない草花が、雨上がりのしずくによって、とっても素敵に見えます。

Instagramで、市外の人がいなべを素敵に撮っていることを知りました。その投稿を見て、逆に、いなべの魅力を教えてもらうことも。いなべには、良い被写体がある。これからも「いなべ探し」をしながら、被写体を探し続けようと思います。



1. にぎわいの森に咲いていた小さな花
2. 万葉の里公園で見つけたホタルブクロ



27年前、僕が小学3年生の時に父が他界しました。父には、地元の大安町石樽地区で、たくさん写真を撮ってもらった記憶があります。僕自身、結婚し、子どもが生まれ、「家族」と「風景」を撮りたいと思うようになったのは、そんな父との記憶があるから。最近、父が使っていたカメラと同じ型のものを入手。そのカメラで子どもたちを撮ると、当時の父の気持ちに近づく気がします。

身近な風景に目を向けて切り取ることに、喜びを感じています。「いいな」と思って写真を撮るとき、記憶の中のふるさとの風景にひかれている。



それは、父、母、祖父母たちに、この地で大事に育ててもらった証拠だと思います。直接言えなかったけど、「ありがとう」と思いながら撮っています。

1. 娘のお気に入りぬいぐるみをベビーカーに乗せて散歩
2. 数年前、桜が咲き始めたころに員弁川散歩道で

まちの「いいな」を見つけて発信すると、それを見た誰かの「このまち、いいな」につながっていく。そんな素敵な「いいな」の広がりが、今、Instagramを介して起きています。

太一さん 父が写真を撮っていたのを見て、中学2年生くらいから本格的にカメラの設定などを勉強するようになりました。Instagramで「#いなべ探し」と検索して、「いいな」と思った所には、僕も写真を撮りに行っています。いなべの景色は、自然が多くてきれい。この景色が、何十年後も残っていてほしいなと思いながら撮影しています。

充さん 気付いたら僕よりも息子の方が写真に熱心になっていました。息子には、目で見たきれいな景色を感じ取って、撮ってほしい。いなべの



中でも「映えない」スポットにこそ目を向けて、そこにある魅力に気付いてほしいと思います。

1. 家の近所を夫婦で散歩中に自撮り。充さん撮影
2. 東藤原駅近くのひまわり畑。太一さん撮影



私の「いいな」が、誰かの「いいな」へ

「あ、いいな」

真っ赤な夕焼け、風にゆれる稲穂、愛犬との散歩道——。思わずパシャッと写真を撮るのは、目に映る風景に心が動いているから。

自分が感じた「いいな」を写真に残し、それを見た誰かが、また「いいな」と思う。そんな「いいな」の連鎖が、まちへの愛につながっていきます。

あなたの「いいな」は、きっと見つかります。「いいな」を見つけたら、ぜひ投稿してください。

「いいな」でつながる写真展



「#いなべ探し」写真展の開催



一人でも多くの人に、いなべの魅力を発見してほしいとの思いから、Instagramを活用した写真展を開催します。「#いなべ探し」を付けて投稿された写真の中から、選定した50点を展示します。

投稿写真のテーマ いなべの魅力が伝わるもの

投稿方法 ①市公式アカウントをフォロー
②「#いなべ探し」を付けて投稿

投稿期限 11月30日(水)

展示期間 2023年1月7日(土)～30日(月)

展示場所 シビックコア

みなさんの声をもとにして

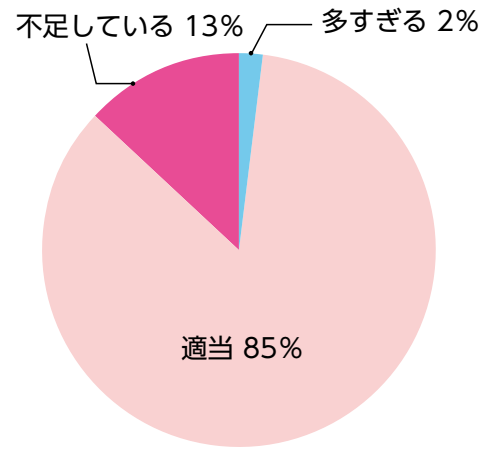
7月に実施した広報に関するアンケート調査結果の一部を紹介します。アンケートに寄せられた声をもとに、今以上に「伝わる」広報にするため、来年度中に広報戦略基本方針を策定します。結果報告書は広報秘書課または市ホームページで閲覧できます。

実施期間：7月1日（金）～31日（日）
調査方法：郵送、web
調査人数：2,000人に郵送
回答者数：731人

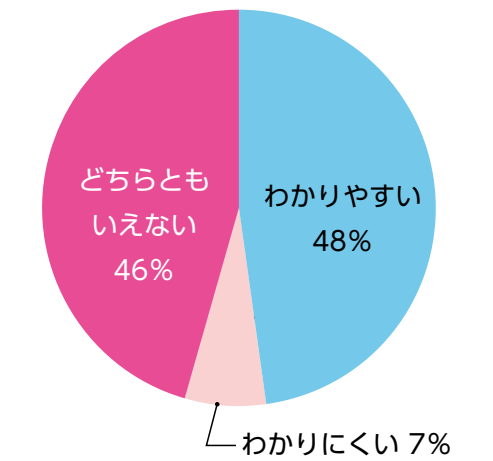


※小数点以下を四捨五入しているため合計が100にならない場合があります。

Q 市が提供する情報の量は？



Q 市が提供する情報の内容は？



アンケートで寄せられた声 一部抜粋

- 地域の頑張っている人が紹介されるといいと思います。(40代)
- 高齢者なので、活字で情報を入手できる方法が一番助かっているため、今後ともよろしくお願ひしたいと思う。(60代以上)
- 災害時の情報。台風情報も即座に知りたい。(50代)
- テレビや紙媒体は見ない事がほとんどなのでTwitter（ツイッター）やInstagramなどネットだと目につきやすいです。(20代)
- Linkなどに載っていない情報をいなべ10などで観る事が多くある。行ってみたいイベントを後で見る事がある。(40代)
- 他県からきたばかりで知らないことが多いので、いなべ市のイベント事やお店の情報などが知りたいです。(30代)

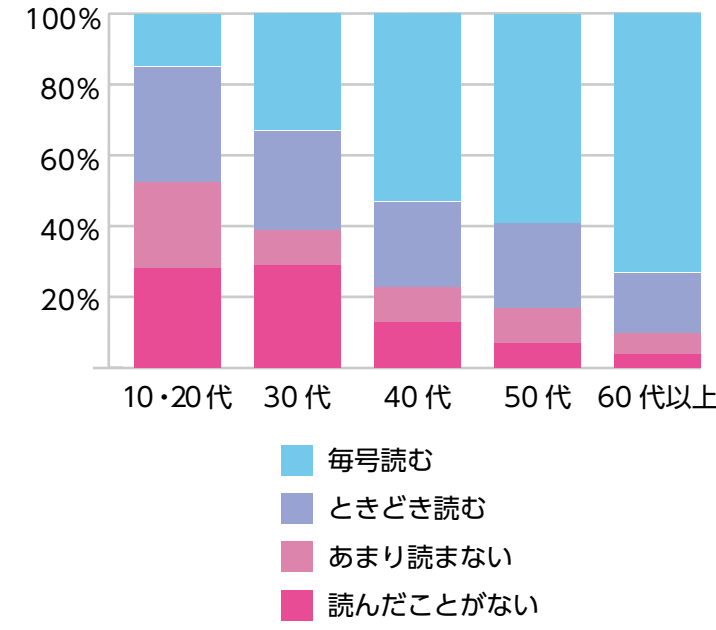
アンケートを受けてここを改善

このようなアンケートをもっと行い、見る側、聞く側の意見を取り入れてはどうか。(60代以上) とのご意見をいただきました。中心的な広報媒体であるLinkを、皆さんのご意見を取り入れて、より良いも

のにするため、今月号からLinkについての読者アンケートを設けます。ぜひ、感想をお寄せください。今後の誌面作りに生かしていきます。



Q 情報誌 Link について



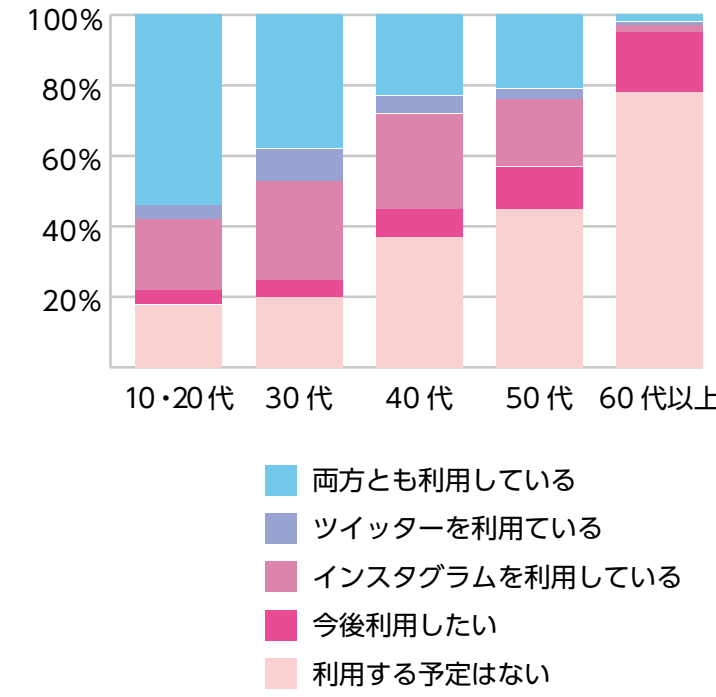
Linkの特集をInstagramで紹介

アンケートでは、若い世代ほど広報誌を読んでいないことがわかりました。そこで、今年度から、Linkに掲載した特集の内容をInstagramでも紹介しています。誌面で載せきれなかったカットやコメントも紹介しているので、Linkを読んでいる人にも楽しんでいただけます。

誌面と違うカットで紹介▶



Q ツイッターまたはInstagramの利用状況は？



あらゆる世代に届くように

アンケートでは、誌面でお知らせしている情報が、若い世代に届いていないことがわかりました。そして、若い世代ほどSNSから情報を得ていることも判明。そこで、Instagramやツイッターで市主催のイベントを発信。複数の媒体で情報発信し、あらゆる世代に届くように取り組んでいます。

妊婦向け講座をInstagramのストーリーズで紹介▶



より「伝わる」、より「つながる」

今回のアンケートに寄せられた声をもとにして、今以上に「伝わる」広報にするため、来年度中に、広報戦略基本方針（第2期）を策定します。分かりやすい表現に努め、必要とする情報を複数の

媒体で発信するなど、より伝わり、皆さんと市がつながりを感じられる広報を目指していきます。今後とも市の広報活動に、ご理解とご協力をお願いします。